

先生の写真

小野晃典研究会

マーケティング論 < 広告論・消費者行動論 >

ゼミ員構成

4年生<第6期生> : 19名(女子6名、他学部1名)

3年生<第7期生> : 20名(女子7名、他学部2名)

活動日

本ゼミ<木曜4・5限> : マーケティング関連の英書の講読、ケースメソッド、ディベート、研究中間発表
サブゼミ<月曜4・5限> : ケースメソッド、ディベート、コンピュータによる多変量解析演習、
最新の論文を教材に用いたフリーディスカッション等

活動紹介

私たち小野晃典研究会は、広告論と消費者行動論を軸としながら広くマーケティング研究を行っています。まずは多変量解析演習やケースメソッド、およびディベートによる基礎的な知識を吸収し、これらを通してマーケティング研究に欠かすことのできない土台を固めます。3年生の前期にこの段階を終え、後期には前期で積み上げた知識を応用する段階に入ります。具体的には、4つの研究プロジェクト・チーム(商学部異分野インゼミ研究報告会、マーケティングゼミ合同研究報告会、関東十ゼミ討論会、英語論文)に分かれて、マーケティングに関する論文の執筆に取り組みます。4年生になると、卒業論文の執筆や後輩指導に当たります。ゼミ生の質の高い卒論は全て、ゼミのホームページに堂々掲載されています。また、対外的にも評価され、昨年度はテレコム社会科学学生賞と慶應義塾商学会賞を受賞し、また、国際学会での発表の権利を得ました。さらに、本研究会は、合宿や飲み会などのオフタイムの行事にも力を注いでおり、昨年度は商学部ゼミナール対抗ソフトボール大会にて優勝杯を手に入れました。全力で学ぶ、そして遊ぶ。これが本研究会のモットーです。

ゼミの特徴

本研究会には、「とにかく自分を成長させたい」という強い意志とやる気をもったゼミ生が集まっています。指導教授である小野先生は、私たちゼミ生の考えを尊重し、いつも背中を押してくださいます。そのような高い意識を持った先生や仲間とともに切磋琢磨し合いながら学ぶことができる日々は、非常に刺激的です。頻繁にグループワークを行うことで論理的思考力や発言力を養うことができますし、仲間と共有した時間がかけがえのない経験となった分、卒業時に涙してゼミ生が別れを惜しむ光景が見られるのは、本研究会の大きな特徴です。

連絡先

気軽に連絡して下さい!お待ちしております!!

小野晃典先生(指導教授)

akinori@fbc.keio.ac.jp

菊盛真衣(入ゼミ)(文責)

genkinakikumori927@hotmail.co.jp

松木拓也(入ゼミ)

tm680324@yahoo.co.jp

入ゼミ専用メールアドレス

onozemi8@gmail.com

小野ゼミホームページ URL

http://news.fbc.keio.ac.jp/~onosemi/